

# 江島の風

西海市立江島中学校 学校だより  
令和6年10月29日発行 No. 19  
発行者 校長 Tel 0959-37-0352



## Winds of Enoshima

### 市中総体新人大会を終えて

10月26日(土)、崎戸総合運動公園体育館で西海市市中総体新人大会バドミントン競技が開催されました。江島中から〇〇さんが出場しました。

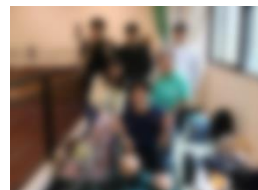
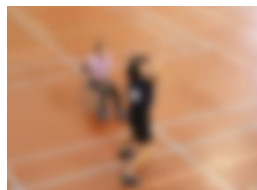
新人大会を前に、〇〇さんは23日(水)の激励式の中で次のような決意の言葉を堂々と述べました。

- ・基本を大切に。基本に立ち返りながら、1点1点積み重ねていきたい。
- ・家族、先生方への感謝の気持ちを忘れずプレーする。
- ・この二つを大切に、県大会出場という結果を江島に持ち帰ることで、江島の皆さんの応援に応えたい。

これらの思いを胸に、個人戦シングルスに出場し、県大会出場をかけて2試合に臨みました。

残念ながら、県大会出場は叶いませんでしたが、試合で1点を取るたびに「よし! よっしゃー!!」とガッツポーズで大きな声を出し、相手選手と熱戦を繰り広げる姿に逞しさを感じました。また、試合会場に到着して、まず初めにバドミントン協会の審判員や大会本部の先生方に「よろしくお願いします」と挨拶に行く姿にとっても感心しました。新人大会を通して、生徒の大きな成長を感じることができました。

ある高校スポーツの指導者が、部活動指導の際に「勝っても負けても始発駅。スポーツは過程が一番大事である。」という言葉を生徒へ語りかけていました。新人大会後「これから厳しい練習に励んでいきたい」と熱く語る生徒の姿を見て、まさに今回の新人大会は生徒にとっての「始発駅」になったと感じます。これからも日々の練習を積み重ね、心と技術と体力のさらなる成長を期待しています。



### 読書週間

毎年10月27日から11月9日は読書週間とされています。本校でも10月17日(木)から11月11日(月)の期間を「秋の読書月間」として、本に親しむきっかけづくりを目的とした「POPコンテスト」「読書ビンゴ」「新聞記事を使った活動」に取り組んでいます。「POPコンテスト」は、4月の子ども読書週間に合わせて第1回を実施しており、今回が2回目となります。

国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センターの「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究」によると「小学校高学年から高校の頃の読書量が多い人は、そうでない人よりも、意識・非認知能力や認知能力が高い傾向がある」という結果が示されています。

この非認知能力とは、意欲や、忍耐力、計画性、コミュニケーション力など数値では測り取ることができない力のことです。学習指導要領では、非認知能力を「学びに向かう力」としており、長崎県教育委員会においても「学びに向かう力(非認知能力)」を「主体的に学ぶ態度」「自分を律する力」「自分を客観的に把握する力」「よりよい生活や人間関係をつくろうとする態度」の4つに整理しています。

「非認知能力」は生涯の学びを支える力とも言われており、先程の青少年教育センターの調査研究結果は、非常に興味深いものです。

今年の読書週間の取組によって「読書の秋」が深まり、非認知能力の向上につながってほしいと思います。

### 江島中チャレンジ

保護者様には「10月保健だより」でお知らせしておりますが、11月11日(月)～17日(日)の期末テスト前部活動停止期間中、大崎中学校、大崎小学校と合同でメディアコントロールの習慣を身につけることを目的とした「江島中チャレンジ」を実施します。

チャレンジ期間中の大崎中学校との共通目標を「帰宅後から夜寝るまで、メディアは1日1時間以内(学習は除く)」としています。メディア・SNSとの上手な付き合い方を身につけるとともに、期末テスト前の家庭学習に励んでほしいと思います。